

途中経過報告

セイタカアワダチ草 2012年11月撮影

山羊さんが放牧された場所に関して、目立ったセイタカアワダチ草を見かけなくなった。竹笹も少なくなってきたように感じる。

岐大から発表される研究データを見れば、こうした事実が浮き彫りになってくると思う。



可茂森林組合の協力の下、ナラの木の皮をプレスした煎餅ができ上がり、山羊さんが食べるかどうかを確認しました。2014年12月撮影

興味を示し、食べる山羊さんがほとんどでしたが、継続的に食べるかどうか、新鮮な草がある時期にも興味を示すかどうかを見なければならぬと思う。

また、栄養的にどうか、食べたことで体調がどうかなど同時に確認する必要がある。



山羊さんの置土産（糞尿）から手土産を作る

山羊さんの糞と尿がしみ込んだ稲藁を畑にまき、サツマイモを栽培、収穫した。それを加茂農林高等学校、生物工学科の生徒たちが、塩麴を使ったスイートポテトを作り、商品化の第一歩としてスタート。

尚、塩麴は、加茂農林生が作ったお米からできたものです。



試食をしてもらい、アンケート調査、それを参考にして開発を続けていく予定。後は、賛同してくれる加工業者を見つけることです。